遠藤れい子の新潟県議会ウォッチ　No.287　2025年6月1日　《部内資料》

原発再稼働ストップ

遠藤れい子ひまわりレポート

〇遠藤れい子事務所　〒940-0052 長岡市神田町3-1-3
☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443

ホームページ

世論を大きく！あなたの声で消費税減税を！
夏の選択は、国民の暮らしを守る日本共産党で！

地域医療を守る実行委員会が新潟県に要望

地域医療体制の充実と医師確保を

5月23日、地域医療を守る新潟県実行委員会は、花角知事と福祉保健部にあて「地域医療体制の充実と医師確保を求める」要望を行いました。遠藤れい子も出席しました。

上越からは、「閉鎖予定の新潟労災病院がなくなれば本当に住民が困る。現在整形の手術をかなり行っているが、県立中央病院の手術室では賄えきれない」、「松代病院が診療所になると、高齢化した人は十日町病院までは行けない」など地域の声を届けました。

5/23 県要請で発言する馬場秀幸県議（その左）遠藤れい子

村上地域からは、「出産できる病院がなくなった」、県央地域からも地域の実情が報告されました。

県は、「人口減少でも持続可能な医療を提供するためには、地域医療構想を進めていく。理解をお願いしたい。国に対しては診療報酬改善と医師偏在の解消を要望していく」と、相変わらずの答弁でした。

地域医療構想調整会議には地域の医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会、市町村、医療保険者、病院関係者、高齢者施設関係者等が参加していますが、これまでの「構想」を見ている限り入院ベッドが減らされたり、診療科がなくなったりと、地域住民が医療から遠ざけられる状況になってきています。

こうした中で、住民の願いや要望をしっかり届けていくことは大事です。要請行動に同席した馬場秀幸県議（上越市選出）は、県に対して、「地域医療構想調整会議を、もっと住民に開かれたものにすべき」と発言しました。

遠藤れい子の笑顔でファイト

美しい長岡の景色②

今回は、私遠藤が撮影したスナップから、美しい長岡を紹介します。

①中之島のYさんのお宅で開かれたお茶会。中之島ふるさと守り隊は「原発再稼働の是非は県民投票条例を求める」署名を取り組み、地域の知り合いから5千筆を集めました。花角知事は否定的意見を付け臨時県議会に提出。自民・公明などの反対で条例案は否決されました。

県民の意思で判断することは重要です。これからも頑張っていこうとお茶でいっぷく、英気を養いました。

②ご近所のお寺様の牡丹園。とってもきれいでしょ。

③田植えが終わって一息。我が家の水田から見た夕日に映える本川橋です。